

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]

人口			
— 4月30日現在 —			
9,795人	男… 4,763人	女… 5,032人	
世帯数…	2,623		
転入 181	出生 11		
転出 217	死亡 8		



野尻小で全児童が巣箱づくり

野尻小学校(平山保信校長、100人)では、ことしも「愛鳥週間」にちなんで校内巣箱コンクールを開きました。

子供たちが野鳥と接しながら美しい郷土を理解するように行っているもので、ことしで六回目。低学年は両親に手伝ってもらいましたが、児童のアイデアにあふれた巣箱がいっぱい集まりました。

第202号
昭和51年

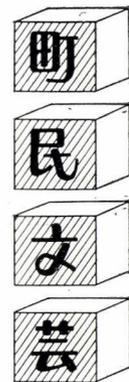
6月1日

おもな内容

- 草部南部に保育園誕生……………(2)
- 雨期に備える……………(3)
- 美しい町づくりめざして
- 50年度の町社会福祉協議会決算……………(4)
- 甲斐有雄翁の記念碑が復元……………(5)
- 待ってます国民休暇村君……………(6)
- たかもりの民話・郷土の博物誌……………(7)
- みんなの広場(読者がつくるページ)……………(9)

27	20	13	6
日	日	日	日
旭通②	東上町②	馬原②	平田②
0309	0604	0216	0019
院	院	院	院

日曜
在宅医
 診療は午後5時まで



俳句

京の娘に送るぜんまい運び摘む
雨降れば雨をたへて春惜しむ
山裾に山鈴蘭の細かりし
まごとの客はげんげの首飾り
古屋根の赤くそめられ燕飛ぶ
巢作りか夫婦燕の軒しげく
花明り窓辺に照らし風邪に臥す
芽木の雨遊びに来いと電話あり
さら／＼とせ／＼らぎの音蝶渡る
初蔵今朝のお汁のおいしさよ
花片を車体につけて雨上る
小津留橋河鹿の声と瀬の音と
田植前あわたゞしくて今日も昏れ
子を思ひ親を偲びて母の日に
新緑にかゝりし太き虹の橋
郭公の声聞けるかと土手に掛け
子供の日苺に蜜を敷きやりぬ
拭きに拭きガラスなき如し五月窓
目の手術して葎野の葎見ゆ
でで虫の角がよく伸び夏に入る

肥後狂句

勘ぐるて、夜勤にもアライバイの要る
呑み込もうで、棟梁しきる弟子大工
やもう得ん、法は恩師も裁かなん
鉢巻、生徒は自習させてある
やもう得ん、退職金で尻拭い



草村あつ代
馬原その女
甲斐 菊江
野尻さだむ
福岡 宮女
熊谷 つ子
野尻いくよ
熊谷こう女
熊谷 紫雲
熊谷起代女
野尻 里女
瀬井てる女
野尻 誓道
瀬井せん女
伊東 初子
藤井秋雪女
長友たつ子
熊谷あさ子
草村 鶴代
馬原 岳人

浦家 南夫
岡本 琴司
馬原 馬笑

おめでた おくやみ

出生		S51.4.15~5.14			
(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)	
下町	渡邊 五喜	祝 治	男	51.4.3	
小倉原	村上 美雄	満	男	51.4.8	
昭和	山村 高志	信也	男	51.4.16	
昭和	飯干 平朗	敏克	男	51.4.24	
下町	山村 絃司	弥太郎	男	51.4.26	
昭和	石田 輝男	智子	女	51.4.28	
下町	山村 将護	龍太郎毅望	男	51.4.29	
森	今村 吉晴	智和	男	51.5.3	
河原	白石 豊	豊和	男	51.4.8	
津留	瀬井日出登	満	男	51.4.16	

死亡		(死亡者)(年齢)(死亡年月日)			
(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
上町	渡邊 テイ 夫	渡邊 廣枝	76	51.4.18	
横町	後藤 一人 父	後藤 清一	86	51.4.20	
井上	住吉スワ子 夫	住吉 積	62	51.4.21	
森	柴田フイ子 夫	柴田 文夫	49	51.4.28	
前原	後藤 保一 父	後藤 治義	85	51.5.2	
永野原	森 関蔵 父(未詳)	須藤 シカノ	78	51.4.15	
永野原	甲斐 有雄 妻	甲斐 ハナエ	73	51.5.8	

雑詠

社倉 今泉多美江(83)

人生の欲

上色見 後藤嘉平(86)

サツキの花のいろ
いづくともなくうぐひすのこゑ

。限りなき欲の深きを今ぞ知る
米寿すぐれば白寿恋しき
。記念にと植えたる桜咲にけり
己が米寿を祝うごとくに

あさぎりに うかぶ

子供の日 ひこい
くろこひ にしきこひ
さつきのそらの風におよげり

鉢巻、来年こそは一ツ橋
なんとなつくれん、ビラは東京歌舞伎でん
鉢巻、御幣下げとる夫婦岩
やもう得ん、迷惑かけたこつもある
鉢巻、禿の面積隠しよる

林田 一声
田上黙公子

香典返し

高森町社会福祉協議会に対し、次の方々から香典返しとして、多額のご寄付をいただきました。

▽色見井上の住吉スワ子さんから(夫、積さん・62歳死去)

▽高森上町の渡辺栄滋さんから(父、廣枝さん・76歳死去)

▽高森横町の後藤一人さんから(父、清一さん・86歳死去)

▽尾下の児玉マサコさんから(夫、務さん・64歳死去)

▽上色見前原の後藤保一さんから(父、治義さん・85歳死去)

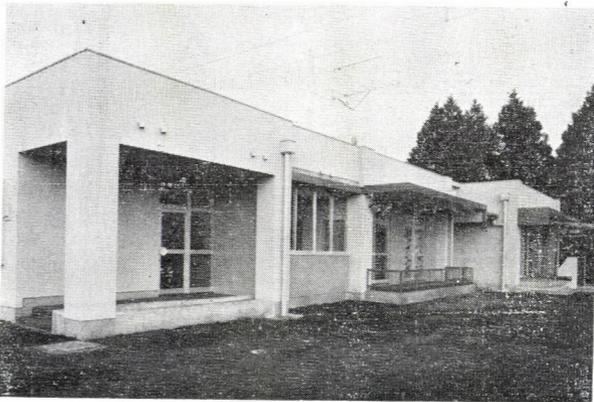
▽高森の柴田ふい子さんから(夫、文夫さん・49歳死去)

草部南部に保育園誕生

30人が喜びの入園式

本町の草部地区に町営保育園が完成。さる五月一日、地元町議、園児父母ら関係者約五十人を招いて開園式を行いました。

草部地区は草部、芹口、永野原、菅山、下切の五部落が点在しており、戸数四百六十六、千五百四十六人（四月末）の山間地。「辺地の幼児にも楽しい集団保育の場を」と、地元民総参加による保育園設置準備委員会の陳情を受け、町では五十年事業として昨年十月から工事に入っていました。名



完成した草部保育園

称は「草部保育園」。

敷地は草部小中給食室の裏隣りを買取した九百九十五平方呎。園舎は鉄筋コンクリート平屋建て一棟で、面積百八十八・九平方呎。職員室兼医務室、乳児室、保育室、休養室など五室とプランコ、入り口は、新しい園児といっしょにお母さんたちも出席していましたが「これで安心して仕事に専念できます。友だちもふえ、きっと、明るくよい子になってくれるでしょう」と保育園の完成を喜んでいました。



冠婚葬祭の「虚礼廃止」

新生活運動 全町へ徹底呼びかけ

住みよい町づくりをめざして、町教育委員会では冠婚葬祭などの虚礼廃止を、さきの駐在員会議で提案しましたが、これをさらに全町へ徹底するための検討会を、五月十三日午後二時から役場会議室で開きました。

主催者側から岩下町長、今村教育長、本田社会教育委員長ら、町内から町議会、農協、婦人会、商工会、老人会など各団体の関係者ら約六十人が出席。教育委員会が示した新生活運動推進のための実施事項を一つ一つ検討しました。この結果、次の七項目を町内の申し合わせ事項として決議、全町で実行に移すよう働きかけることにしました。

町議会、農協、婦人会、商工会、老人会など各団体の関係者ら約六十人が出席。教育委員会が示した新生活運動推進のための実施事項を一つ一つ検討しました。この結果、次の七項目を町内の申し合わせ事項として決議、全町で実行に移すよう働きかけることにしました。

- ◇結婚式の簡素化
はでになるいっぽうの結婚式にストップをかけるため、こんご町の公共施設（畜産センター）、集会所などを活用した結婚式では、引き出物をいっさい廃止することとし、酒も一人二合ビン一本あてとしました。
- ◇病見舞いの返礼はやめる
病見舞いに対しての謝礼は言葉、もしくは、お礼にハガキを出す程度にとどめ、お返しはやめましょう。
- ◇初盆の接待はお茶だけに
おまいりするときの包み銭は、ローンク、線香代という本来の趣所などを利用した結婚式では、引き出物をいっさい廃止することとし、酒も一人二合ビン一本あてとしました。
- ◇病見舞いの返礼はやめる
病見舞いに対しての謝礼は言葉、もしくは、お礼にハガキを出す程度にとどめ、お返しはやめましょう。
- ◇初盆の接待はお茶だけに
おまいりするときの包み銭は、ローンク、線香代という本来の趣

◆国旗掲揚の励行

祝祭日には国旗を掲げましょう。写真写真は新生活運動検討会

みんなの広場



「友だちと私」
野尻小3年 甲 斐 まゆみ

私はかつてある雑誌に、作家の石川達三さんが次のような論評を掲載しているのを見た。それは簡約すれば「女性には国会議員の投票権を与えるな」というような内容であったと思

は、その最たるものであろう。我々はこういう事件を見聞するたびに、その関係者に対して深い憤りを覚える。しかし我々は、それを単に政治家のみの責任として、当

選挙意識の高揚を

菅山 遠山 雄司(25) 農業

は女性のみならず、我々男性をも含めて、果して真に選挙権を有する資格のある人間がどれほどいるであろうかと、懸念するがゆえにである。もちろん自分自身をも含めての話ではあるが。

今日の政情を考察するに、たびたび新聞紙上にぎわす汚職、とくに今度のロッキード事件など

事者が罰せられる事を望み、それで片付けてしまつて良いものだらうか。もちろん、不正を働いた人がその責めを負うのは当然である。しかし、選挙によって彼らを選ぶ国民の側にも政治への関心不足、そして選挙という事の重大さに対する認識不足があるのである。

このページはみなさんが主役です。あなたの意見や声をお送り下さい

我々はこの一票にすべてをかけて政治への参画をなしているわけであり、ここで留意すべき点は、我々の一票一票がどれほどの重みを持つかということである。我々はそれに希望、意志すべてを託しているのだから、選挙に際しては被選挙の人格、見識をあくまで見

第三期(約三十年間)が人生の花の時代ならば、第四期はいよいよ人間の實を結ぶ時代といえよう。

人間は一つの天職を通して生きねばならぬが、加齢とともに漸次弱っていくのが通例。この意味で六十歳以上になると「老人会」という一つの楽しい世界が待っている。

六十歳になったら、一人残らず進んで加入。真の老人の生きがいをもともにかみしめた

人間のけじめ

津留 馬原 範三 (73)

最近、お寺を中心に仏教婦人会、若妻会、壮年会などが結成されつつあることは頼もしい。いっどこに行っても、いつも私といっしょにいてくださる仏。知ってござる仏。その仏を思う。再び考えたい。生活だけに向けていた心を、仏の方にも向けたものである。いつも。(おわり)

美しい町づくりめざして

県下に広がっている「美しい熊本づくり」に呼応して、このほど高森校区婦人会が高森峠一帯で清掃奉仕をしたほか、村山老人クラブもラクダ山で桜の幼木を植え、奉仕作業に汗を流しました。

高森峠のゴミ一掃

町婦人会が清掃奉仕

美しい町づくりを目ざす高森校区婦人会は、春の連休あけの五月十三日、高森峠一帯で清掃奉仕を行い、住民や観光客から喜ばれました。

九十九曲がり知られる高森峠は、県の修景美化地区で、展望所からながめる南郷谷は最高。ところが三合目から展望台にかけて、紙くずや空き缶、ビンなどが散乱、せつかくの自然美がよごされています。早朝から作業にあつたのは山村会長ら約四十人。町からも観光職員とゴミ収集車が出動、見



展望台のゴミを集める婦人会



桜苗を植えるお年寄りたち

違えるようにきれいになりました。この日、処理したゴミが車三台分。なかには不心得者が、わざわざ家庭ゴミを袋詰めにして投げ捨てたものもありました。同婦人会では「これからも清掃奉仕に取り組みますが、町内の人だけでも捨てないよう…」と訴えています。

ラクダ山に桜苗植える

村山老人クラブ

村山老人クラブ（三森五一郎会長、六十五人）の植栽作業の努力奉仕は、四月二十四日午前十時から村山の国道二六五号線沿いにあるラクダ山公園で行われました。

同公園は国民休暇村が建設されている近くであり、ここに日本妙法寺門下の石山善邦師らが平和塔を建設中。今秋には休暇村の一部

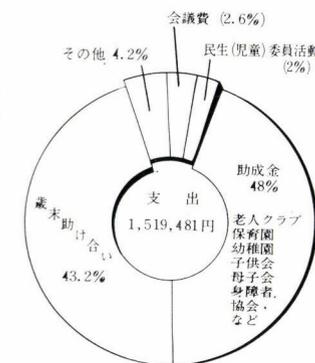
町社会福祉協議会の50年度決算

高森町社会福祉協議会の50年度収支決算を公表します。収入は2,053,200円で、支出は1,519,481円。したがって51年度への繰り越しは533,719円となりました。収入の主なもの香典返しや一般寄付、それに共同募金の配分金です。また支出は、下図の円グラフでおわかりのとおり、社会福祉活動費が全体の95%を占めています。

収入	2,053,200円
1. 共同募金配分金	285,704円
2. 県社協助成金交付金	40,500円
3. 町助成交付金	100,000円
4. 寄付金	762,783円
5. 繰越金	831,412円
6. 諸収入	26,802円

支出	1,519,481円
1. 会議費	39,320円
2. 事業費	1,480,161円

＜主な内訳＞
 民生（児童）委員活動費31,500円
 歳末助け合い 656,611円
 老人クラブ、保育園、幼稚園子供会、母子会、身障者協会などの助成金 728,630円
 その他 63,420円



51年度への繰越金 533,719円

が仮オープンされるとあって、町では野尻の町有林に自生している山桜五十本を職員の手で植え替えることにしていたものです。

新鋭のゴミ収集車購入

町では草部、野尻地区のゴミ収集用に、このほど新鋭の清掃車を購入しました。

清掃組合の清掃車がゴミ収集で

新しく購入した清掃車は一度に二―三トンのゴミ収集が可能で、荷おろしはダンプカーと同じ方式。オルゴール、マイクなどの付属品もついています。総排気量は一九八〇cc、二百二十一万円。

たかざりの良話

<11>

若殿のよめごさがし

昔な、あるところの若殿さんが村人娘の中から嫁ご捜しばしょんはなつたてたい。

ある百姓人家に、殿さまの奥方になつたてちや、ちつとん恥かしゆうなな娘がおるちゆう噂が、お城の殿さんの耳に、ひやあつたげな。そりて殿さんな、じぎじぎにそん娘の家に様子ば見に行つてみなはるこつになつた。

そん家にな、二人の娘がおつたが、姉ん方は先妻の子じな、おつかさんなじぎな娘ん妹ばっかりもぞがって、なんでんかんでん娘の言い放題、させ放題。一方の姉ん方にな、ぼろ着物どん着せち、炊事、洗濯かり野良仕事まじ。自分たちや、なんもせんで、こん娘になんもかんもさせち、こき使ひよつたげな。

いよいよ、殿さんが来なはる日になつた。おつかさんな、どうかこうかして、妹ん方ば殿さんの嫁ごにてち考えとるもんだけん、もうこり以上飾りようがにやごつ着飾らせち、姉ん方は、いつもんこ

つ、ぼろ着物んば着せち「グド」ん火の番どんさせとつた。

殿さんが来なはつて、おつかさんな、じぎな娘にお茶ば差し出させち「これが当家の娘でございます」てち言ううと、殿さんな「こん娘一人しかおらんか。さつき、ちらつと、庭ん方で娘ば見かけたがありや、ここん娘じやなかか」てち尋ねなはつた。おつかさんな妹ん方ば嫁にてち思とるもんで「あん娘は女中同様ですけん」てち、出そごつせんじやつたばつてん、殿さんが出せち言いなはるもんで仕方なし座敷に通したてつた。

そん娘は、ぼろば着て、顔にやへすみ（鍋すみ）もちいとるばつてん、着飾つた娘に負けんごつ美しゆうして、礼儀も正しかつたげな。殿さんな、どつちとん決めかねち、困つとんはなつたが、いつときとして、「よし、歌詠みばさせち、よう詠んだ方ば嫁にしよう」ち言いなはつた。そこじ、丸い盆ば持つてこらせち、そん上に皿ば乗せ、皿中に石ば置き、松葉ば

挿して、そん上にばらつと塩ばまいて、二人の前に差し出しなはつた。妹は、こりば見て「盆の上

高森町文化財保護委員

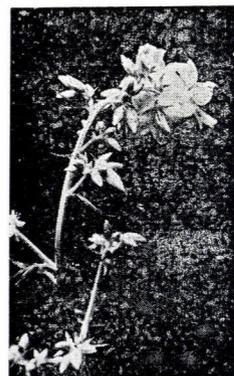
岩下 真理子

挿して、そん上にばらつと塩ばまいて、二人の前に差し出しなはつた。妹は、こりば見て「盆の上

郷土の博物誌

9

ハナシノブ



雨が野山に降りそそぐころにしか花をつけないのは、どうした理由によるものだろうか。しかし、梅雨の晴れ間を待ちかねて野山に出かけると、暗い森を背景に、露を含んだうす紫のこの花が、浮き出るように明るくたたずんでいる姿は、たとえようもなく美しい。そのうえ、ハナシノブという花々の中でも特に心に残るきれいな名前は、

いよいよ梅雨の季節が近まってきた。一般には余り歓迎されないかも知れないが、私にとつて、この季節は大きな喜びとともに、それが待ち遠しくさえなってきた。それは日本国中どこを探しても、この高森を中心とした地方だけにしか存在しない、貴重な珍らしい、美しい花々が野山を飾りはじめ

森を背景に、露を含んだうす紫のこの花が、浮き出るように明るくたたずんでいる姿は、たとえようもなく美しい。そのうえ、ハナシノブという花々の中でも特に心に残るきれいな名前は、

一度聞いた人に、よほど大きな関心と共感を呼びます。四年前、皇太子殿下ご夫妻に、阿蘇の野の花についてお話し申し上げる機会に恵まれたが、そのときも、美智子妃殿下が「ハナシノブ、ハナシノブ」とお口の中で小さく、何度もつぶやかれながら「なんとすてきな名前でしょう」と、お心に残されたようにお見受けした日を、私は忘れることができない。しかし、これらの花は余りに少ないので、よほど保護の手が差し伸べられねば、絶滅してしまふ恐れがある。（ハナシノブ科）

町文化財保護委員 佐藤 武之

野尻の川上神社御仮屋広場の一隅(ぐう)にある故甲斐有雄翁の顕彰記念碑は碑が中央から折れ、長年放置されたままとなっていました。このほど高森下町の石材店主杉永竹範さん(三九)の善意によって、りっぱに復元されました。



津留の御仮屋広場

杉永さんの善意で

甲斐翁の碑が復元

ち込んだ人。この顕彰記念碑も明治四十年七月、同翁が宮崎県から木杯を贈られたのを記念して、旧野尻村が当時代議士だった長野一誠氏や阿蘇神社宮司阿蘇惟致氏(いずれも故人)の碑

置された。昨年、このことが熊本日日新聞で報道されましたが、杉永さんは同じ家業だった翁の功績に感銘を受け、碑の復元は自分の手でやろうと決心しました。碑と同じかっこうの荒尾石を取り寄せ、碑文を拓本に合わせてノミをふるいました。完成した碑は高さ一・五拵幅七十拵。表には翁の功績が彫り刻まれています。

文をもとに川上神社の御仮屋広場に建立しました。ところが、二十年ほど前、同所に消防ポンプの格納庫をつくることになり、記念碑を広場の北側に移転させ

建立にかけた今村教育長ら文化財保護関係者は「地元でも保存策を望む声が多く、その復元が懸案でした。杉永さんの善意に深く感謝します」と語っていました。写真復元された碑と杉永さん

付加保険料を納めて

より多くの老齢年金を

国民年金の保険料は、定額制で今年の四月分から一月につき千四百円となっています。この定額保険料のほかに、付加保険料を納めますと、将来、より

多くの年金を受けることができます。たとえば、二十五年間、付加保険料を納めると、付加年金として六万円が加算されます。付加保険料は、一月につき四

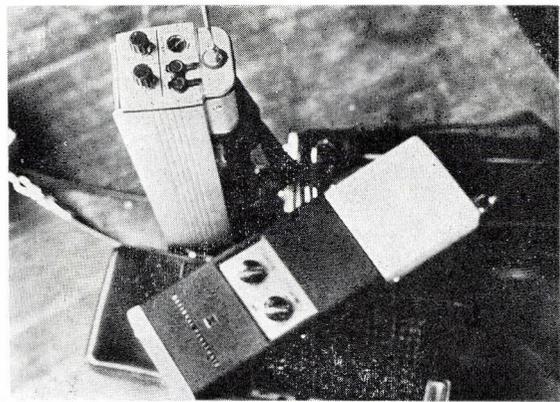
百円です。定額保険料を納めている人であれば、どなたでも納めることができます。付加保険料を納めた期間に応じて老齢年金の額が増額されますので、手続きが早ければ早いほど有利になります。

役場に備えつけてある「付加保険料納付申出書」を提出していただけで結構です。くわしいことは町民課国民年金係へおたずねください。

あと絶たぬ「不法運用」

トランシーバー

必ず免許が必要です



簡易な通信用としてトランシーバーがめざましく普及しつつありますが、九州電波監理局では、電波利用の秩序を維持するため、正しいトランシーバーの運用を呼びかけています。

電波が社会のあらゆる分野で有効に利用されていますが、最近、とくに二六メガヘルツ、二七メガヘルツ帯の周波数の電波を使用するトランシーバーが普及しています。九州電波監理局の調べによりますと、五月末現在で同管内に約二万八千局が電波法による免許を受けて、トランシーバーを運用しています。

立てて運用している人、アマチュア無線用のものを勝手に使用している人、さらに悪質な場合は、郵政省型式検定合格器の封かんをみだりにはがし改造して法定外の周波数や空中線電力を放射している違反者がいるといわれます。これらの違反は一般無線をはじめ、テレビ、ラジオの視聴に混信を与えています。

そこで、トランシーバーをお使いになりたい方は、郵政省無線機器型式の検定合格品であるかどうか、また使用区域に合致したものであるかどうか、これらを確認のうえ、必ず所轄地方電波監理局長の免許を受けて正しく運用するようになしてください。

ところが、免許を受けないで運用している人、別のアンテナを

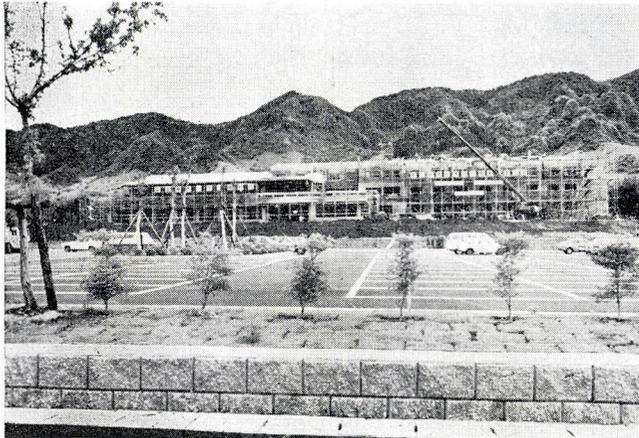
待ってます！ 国民休暇村君

上色見 本田 耕亮

いま国民休暇村の建設工事が急ピッチで進められている。裏阿蘇とも奥阿蘇とも呼ばれ、かつては人も余り入り込まなかった南外輪近くの丘と林を切り開いて、毎日百人を越すであろう作業員が目まぐるしく仕事に取り組んでいる。まさに、この姿は活動的で目を見張るものがある。槌(つち)音高く—といった表現がびったりで、資本主義社会のエネルギーを感じさせる。

南阿蘇にこれで一つの観光拠点ができる。白水村からの南阿蘇登山道路の完成。久木野村の大規模保養年金基地。高千穂道の大改修。これまで、せっかくの大阿蘇を控えながら、何一つ利用できなかった後進地「南郷」のイメージをこれにて変えることができるかどうか。

居住地の關係上、特に私は国民休暇村の将来に期待してやまない。朝晩通り過ぎる車の窓から建設地をのぞき込みながら「あそこはどうでしょう」「ここはこんなふ



建設すすむ国民休暇村

うに—と、あたかも自分が休暇村協会の最高スタッフになった気持ちで、頼まれもしない計画に胸

をふくらませる。ところで、初目見えの休暇村君に対して地元の人たちは何か一種の戸惑いに似た気持ちを抱いているようだ。はたして休暇村君は美男子の君であられ、そしてヤア、ヤアと軽く手を振って地元人にあっさり溶け込める好青年であられるか。まだ到着しない彼は、ただ私たちのイメージの中にあっただけだ。

しかし、だれがなんと言おうと確実に高森町字草原の標高六百呎の高原に、その偉容を誇る日が迫っていることは間違いない。なにはともあれ、地元高森の人たちは万歳の旗を用意して彼を待つことにしよう。地元特産の青トウキビ、ヤマイモ、クリ、阿蘇タカナ、ウド、ゼンマイ、ワラビなどは都のお客さんたちに、きつと喜んでいただけるに違いない。

しかし、農民にもまして、最も敏感に反応せねばならないはずのいわゆる町の商人さんたちが案外無関心なのはなぜ

か。いままでひっそりと生き続けた山の町に、突然と何やらでっかい意図をもった「よそもん」が入り込んで来て、町の均衡を破ろうとする動きに対する八分の不安と、新参者への二分の期待といった複雑な気持ちだが、無関心さを装って

山火事を未然にふせぐ

お手柄の四中学生

下校中の高森中学校生徒四人が山林から煙が出ていたのを発見、自ら消火作業につとめ、山火事を未然に防ぎました。

さる五月十一日午後二時十五分ごろ、国道二六五号線沿いの字榎木(平和塔の近く)の山林がパチパチと音をたてて燃えているのを同校三年生の林富男君、後藤勝博君、今村昇平君、それに二年生の後藤勇二君の四人が発見しました。

四人はいつも同国道を自転車でするのと同じように通う友だちで、この日も学校の授業を終えて帰宅中の出来事。野焼きにしては時期はずれだ、とどんどんクヌギ林に燃え広がると、このままでは山が燃えてしまうと、四人が杉枝で消火にあたりました。通行者の林末晴さん(四〇)が町に連絡。消防車が駆

けるのだろうか。とにかく、町当局も町民も命運かけて、国民休暇村君の無事の成長に期待をかけている。地元民の対応一つで、町民の経済の消長に大きく関連を生ずることは事実のようだ。



左から後藤(勝)・今村、後藤(勇)、林君

けつけたときには鎮火してしまっていた。国道沿いであるところから、原因は車から投げ捨てたたばこの火の不始末とみられています。消火が遅れていれば大きな山火事となっていたところでした。

焼失面積が二畝ですんだのは四人の中学生のおかげ。岩下町長もさっそく同校に駆けつけお礼を述べました。町では来春の消防出ぞめ式で、このお手柄の四人を表彰することにしています。

待ってます！国民休暇村君。